大淀町中増地区（やすらぎの里ましが丘推進委員会）概要

1　地区の概要

■大淀町は、奈良県の中部、吉野川沿いの町であり、人口は約2万人（平成21年）。
■町の中心駅である、近鉄下市口駅から近鉄大阪阿部野橋駅まで約1時間であるため、自然豊かな土地柄である一方、ベッドタウンとしての顔もある。
■対象である中増地区は、下市口駅から車で東に20分程度の位置にある。
■中増地区は、409人、125世帯（いずれも平成21年）の集落である。

地区周辺マップ
出典）大淀町HPより

2　現状と課題

■当該地区は、年々高齢化が進み、耕作放棄地など管理されない土地が増えてきている。
■ベッドタウンとして周辺市町村からの転入もある一方、中増地区では人口流出が進む。特に若い人が町外に働くようになり、地元は危機感を持っている。

3　取り組みの現状

■中増地区は、町内でも率先して地域づくり活動を展開してきた地域。
■活動団体「ましが丘推進委員会」のメンバーは45名。
■事務局長を中心に、これまで8年間、活動を展開。町にとっては、町おこしのカリスマ的存在。
■町所有の旧東部幼稚園が活動の場（無償貸借）。平成20年に、活動団体が改修。
■お茶摘みフェスティバル、こんにゃく作り体験など、1年を通して定期的にイベントを実施。ジャガイモみたらし団子など商品開発も取り組む。
■こんにゃく作り体験は、10回程度開催し、延べ100名程度の参加があった。大阪からの参加者もいる。
■女性の参画も増えており、イベント実施・手伝いや手芸活動などにも展開。
■一番若い人でも50代と高齢化が進んでいる。活動の中心は、リタイア層が担う。
■活動を引っ張る人材の不足により、イベント実施以上の展開への発展が困難。地域づくりを率先する人材と体制強化が課題。

4　今年度の検討手順

検討会議	検討内容　※第1回は活動団体ヒアリング(2009/9/17実施)
第2回検討会議 2009.11.5	■近隣地区の地域活性化事例紹介 ■交流事業、商品開発・販売事業等の今後について意見交換
第3回検討会議 2009.11..27	■地域づくり活動、マーケティングのアドバイザーからの情報提供 ■これまでの取り組み内容の再確認・整理 ■今後の活動に関する意見交換（ブレインストーミング）
第4回検討会議 2009.12.21	■検討会を通じたまとめ（地域活性化指針）についての議論 ■今後の活動において必要な役割と分担の確認・仮決め

5　将来像実現に向けて活動主体が求める情報

■同種同規模で同じような課題を有する団体の組織形態や体制に関する情報
■体験プログラムや商品開発の進め方の手法論等

6　拠点施設の状況と活用可能性

◆旧東部幼稚園

■昭和58年に建築。202㎡。多目的スペース、調理室を完備しており、体験イベント実施には十分な施設。

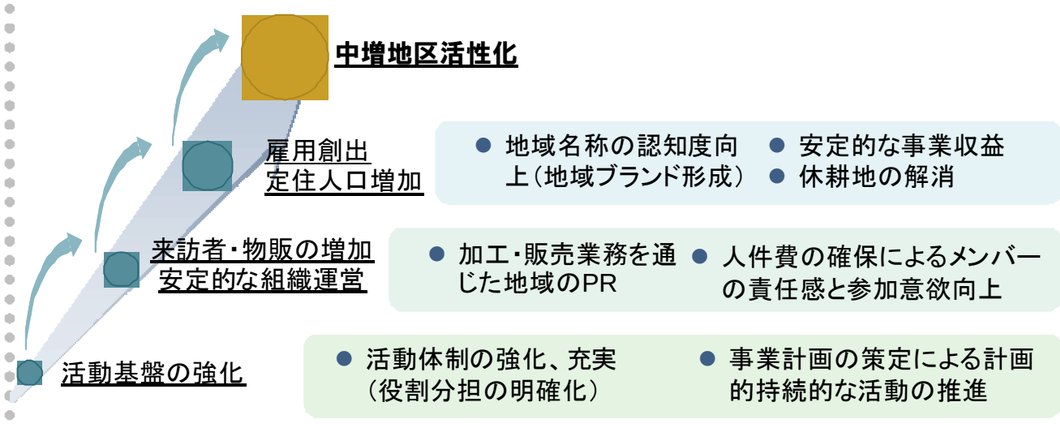
◆ハス生育地

ましが丘推進委員会で、ハスの花の栽培

課題として

■現状の用途のままでの利用を前提とすれば、施設整備等について、現状において特に課題はない。

7　地域活性化計画の概要



●当面の課題●

■これまでの活動実績は豊富だが、事務局長一極集中の体制の是正が急務
■体制、役割分担を決め、事業計画に基づいた活動を行い、必要に応じて体制を見直すといったサイクルにより持続的な活動体制を構築していく